

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：蛭子委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第10回防災部会				
(2) 開催日時	平成31年2月19日(火) 13時30分～15時30分				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 3階集会室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員（部会長：志村 陽子） <敬称略>				
	遠藤 文夫	宇田尻 浩司	一色 隆雄	蛭子 明子	栗田 修平
	在原 寛子	黒川 建	金丸 正明	篠崎 哲也	
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、 入舂 寛樹（大森消防署）、 岡崎 麻美（矢口消防署）、 松橋 幸博（大田区立久が原福祉園施設長）、 高安 道郎（大田区立くすのき園施設長）				
	区職員：上田 哲也（健康政策部災害時医療担当課長）、 阿部 幸喜（防災危機管理課）、 高野 耕治（上池台障害者福祉会館長）、 山戸 健司（障害福祉課）、 小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局：小林 善紀・森崎 恵里（障がい者総合サポートセンター）					
<p>1 各委員、各ネットワークからの情報提供</p> <p>(1) おおたTSネットより、拡大定例の実施報告。</p> <p>(2) 児童発達地域ネットワーク会議より 12月に防災に関する研修を実施できて良かった。今後も、会議内で防災の視点を取り入れていきたい。</p> <p>(3) 警察より 3/11(月)11時頃に、JR蒲田駅にて「東日本大震災」風化防止キャンペーンを実施。</p> <p>(4) 消防より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年に入り、火災件数及び火災による死者が増加。緊急対策として夜間見回りを行っている。 ・住まいの防火防災診断を無料で行っている。まず、各地域の消防署に電話をしてほしい。火災報知器の寿命は10年位。電池切れによりブザーが鳴る場合もあるので、火の手を確認し異常がない場合は、火災報知機を交換すること。 <p>2 情報提供</p> <p>(1) 防災危機管理課より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月に実施した「要配慮者の支援を考える講習会」の報告。 ・3月に、防災講習会を池上会館で開催する。 					

(2) 障がい者総合サポートセンターより

- ・2月に職員向けの応急救護訓練を実施。

(3) 新井宿特別出張所より

- ・新井宿ちいき防災セミナー「女性・こどもにやさしい避難所を考える」の実施報告。町会の協力もあり、防災ランチではローストビーフ丼を試食した。また、ダンボールトイレづくりの実演があった。
- ・2/26(火)には、多文化共生防災セミナーを企画している。

3 今年度の振り返りとまとめ

1) 地域との連携

ア) 総合防災訓練のブース参加

- ・次年度への提案として、ブース機能を向上する。
- ・総合防災訓練への参加の際に、その地域住民の障がいのある方、地域にある施設やグループホームに参加を呼び掛ける。
- ・他の専門部会や、地域の特別出張所との関わりを続けていく。

イ) 地域の防災訓練への参加

- ・次年度以降は、さらに別の地域や出張所と連携を図ることで、地域自治会や出張所に、障がいのある方や配慮が必要な方の防災についての意識を強くしてもらう。

ウ) 広域

- ・市区町村の自立支援協議会で防災に取り組んでいる自治体は少ないが、情報を集めたい。

2) 学習・情報発信の継続 ～「誰もが被災者になる」視点で～

専門部会の学習会の参加者の範囲を広げ、区民公開型にする。例えば、防災部会として得た知識を、区民の皆さんに発信するような講演会を企画できるのではないかな。

3) 他部会との連携

こども部会と児童発達支援地域ネットワーク会議の合同研修会で、防災に関するアンケートを実施できた。居宅介護、移動支援、グループホーム、福祉避難所協定していない施設等、それぞれのネットワークに防災に関するアンケートの実施を検討する。

4) 福祉避難所開設訓練への協力

特別支援学校を含め、福祉避難所の運営を話し合えるようなネットワーク体制づくりに向けた検討はできないか。

5) ヘルプカード 評判や意見の集約

- ・ヘルプカードが認知されてきたため、活用方法が一目でわかるリーフレットや、事例集の作成はできないか。
- ・障がい者福祉のあらましにヘルプカードの記事を「コラム」として掲載できないか。
- ・ヘルプカードに特化した研修会や意見交換会を行う。

6) 次年度の引き継ぎ

- ・「アウトリーチ」「調査・研究」「理解・啓発」の3つの柱を中心に活動する。
- ・相談支援事業、移動支援事業、GH連絡会に防犯アンケートの実施を検討。

⇒防災フェアや地域の防災訓練への参加意思の項目を入れてはどうか。

- ・助けてねシール、助けるシールなど新たなツールの検討。
- ・個別支援計画やサービス等利用計画の中に、災害時の行動を確認する欄を入れるような取り組みができないか。

4 本会報告資料の確認

最終報告で使用するスライドと本会活動報告内容の確認。また、ヘルプカードに関する意見を共有した。

5 運営会議の報告

平成 31 年度の専門部会体制の説明。

※連絡事項

【自立支援協議会第3回本会】

日時：平成31年3月15日（金）13時30分～15時45分 さぼーとぴあ5階多目的室